

<基本的な感染症予防対策>

- ① 児童及び教職員の毎朝の検温、風邪症状の有無等の確認を行い、チェックカードを提出する。
※同居の家族にも検温や体調確認に取り組んでいただく。
- ② 石けんによる手洗いや消毒、咳エチケットを徹底するように指導する。
- ③ 免疫力を高めるため、早寝・早起き・朝ご飯、適度な運動やバランスの良い食事に心掛けるように指導する。
- ④ 教職員の指導のもと感染症予防対応をすることはもちろん、児童自らが主体的に考え、判断する力を培うことで感染症への感染リスクを減らし、新しい生活習慣を身に付けさせる。

<集団感染のリスク回避の対応>

- ① 3密（密閉・密集・密接）を同時に作らない。
- ② 教室の2方向の窓を同時に開けて換気をする。空調使用時においても定期的に換気を行う。
- ③ 机と机の間を最大限にあけ対面にならないような形で生活する。
- ④ 飛沫を飛ばさないように、咳エチケットの要領でマスクを着用するよう指導する。
- ⑤ 多くの児童が手を触れるドア・手すり・水道等を定期的に消毒する。
- ⑥ 児童自らが、感染症予防について考え行動できるよう、場を設定し指導する。
- ⑦ 私物の貸し借りはしない。公共物（器具・用具・本等）を使用する前後の手洗いを指導する。

<学習指導>

各教科等の指導では、3密を同時に作らない工夫をし、以下の活動を含め、状況を踏まえて段階的に通常の教育活動を開始していく。

- ① 体育科における児童が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
- ② 音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体接触を伴う活動
- ③ 家庭科における調理などの実習や理科のグループ実験等
- ④ 児童が密集して長時間活動するグループ学習

<学校行事>

- ① 3密を同時に作らないように工夫し、感染リスクの高い行事は実施しない。

<その他>

- ① マスク着用については、屋内外で実施する。ただし次の場合は除く。屋外（体育館を含む）での体育科の授業や昼休み等の外遊びの場面（熱中症対策）その場合も、手洗いと消毒を徹底させる。
- ② 児童が、自ら考え行動できるよう、環境を整えるとともに、家庭や地域への協力要請をする。
（学活・委員会活動や掲示、まち comi メール、便り、学校 HP）